

(一社)防府薬剤師会だより

# 清流

第124号

2015.6.20



御舟蔵 (撮影：木村紘明)

# 目次

きまトーク（防府リハビリテーション病院 三堀 史郎）	1
服薬指導の実例（山口県立総合医療センター 木村 福男）	2
職場紹介（そうごう薬局防府駅南町店 久保 彰則）	3
こんにち和	4
会員の動き	5
定例理事会報告	5
健康福祉センターからのお知らせ	9
生涯教育	10
山口県薬剤師フォーラム2014に参加して （メディカルドラッグピスティー店 越智 志穂）	11
表紙の説明	12
編集後記	12

## — 気ままトーク —

### 防府薬剤師会との関わり

防府リハビリテーション病院 三堀 史郎

私も皆さんと同じように原稿依頼が来たけれど、何を書こうか悩みました。最近の出来事？（仕事が忙しくてどこにも行っていないし、休日は家でゴロゴロ）趣味？（スポーツも最近してないし、囲碁や将棋等もしてないし、お酒は好きだけど、月に2回程度飲みに出たり、たまにパソコンをいらったり、DVDを借りて映画を観るくらい）ということで、薬剤師会との関わりについて書いてみたいと思います。

今の職場に平成3年から就職し、それと同時に入会しました。入会当時は、気軽に勉強会や催し物に参加する程度で、薬剤師会そのものについて分かっていませんでしたが、平成6年から生涯教育委員会（現 生涯学習委員会）に所属し、企画することで少しずつ分かってきました。平成16年からは理事になり、月1回の理事会や総会・新年会などに出席し、平成17年からは大道中学校の学校薬剤師になり、プールの水質検査、フードスタンプによる環境衛生検査、教室内の照度及び二酸化炭素濃度の測定、薬物乱用防止講義などを行っています。平成22年からは現会長のもと、副会長兼生涯学習委員長になり、月1回の三役会議、2ヵ月に1回の会営薬局運営会議、毎月の勉強会の企画及び日本薬剤師会・山口県薬剤師会・防府薬剤師会への報告なども増え、また、山口県薬剤師連盟の防府支部長兼代議員の仕事もしています。

今回、「防府薬剤師会との関わり」という題で書いたのですが、本当に入会当初と比べて約20年も経つと、どれだけ薬剤師会にドブプリと関わっているかをあらためて痛感することができました。

最後に、取り留めもない内容でしたが今後も防府薬剤師会のために、一生懸命やっていきますのでよろしくをお願いします。

## — 服薬指導の実例 —

### NST 活動と経管栄養剤について

山口県立総合医療センター 薬剤部

日本静脈経腸栄養学会認定 NST 専門療法士 木村 福男

NST という言葉をご存知でしょうか。NST とは、栄養サポートチーム(**nutrition support team**)の略で、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師などの多職種が協同して、さまざまな疾患を抱えた個々の症例に応じて、適切な栄養管理を行う医療集団(チーム)のことをいいます。当センターNST は、2002 年に立ち上げ、私はその当時から NST の運営に携わっています。NST の主な活動は、NST 回診、NST ミーティング、NST 会議、NST 講習会があります。NST 回診は毎週月曜日に実施し、その日の夕方に NST ミーティングを開き、回診症例について、栄養状態の把握、必要カロリーの計算、適切な栄養剤の選択、投与量・投与速度の設定等を行っています。NST 全体会議は毎月 1 回開催し、NST としての意思決定や情報の共有をしています。また定期的に講習会を開催し、職員に対し栄養療法について啓発活動も実施しています。

実際の NST 回診では経管栄養対象患者が多くみられ、経管栄養剤の選択では、医薬品だけではなく食品も含めて、適切な栄養剤の選択をしています。疾患別に使用する栄養剤は食品を使用する場合があります。たとえば腎機能が低下している症例では、カリウムやリン酸の含有量が少なくタンパク質量も抑えている製品を組み合わせて使用しています。

同じ用途で使用する栄養剤であっても、それぞれ特徴があり他製品では代替ができない場合があります。高血糖を伴う症例に使用する糖質調整栄養剤(食品)を例にとってみますと、当センターでは、以前は糖質がパラチノース主体の製品(仮に A と表記)を使用していました。その後、価格が安く糖質がデキストリン主体の製品(仮に B と表記)に変更したところ、配合成分の違いで A 使用時に比べ血糖が高くなり血糖コントロールが難しくなりました。そのため変更前の A と同等の血糖抑制作用があり、糖質にパラチノースが配合された他製品(仮に C と表記)に変更になりました。ところが、糖尿病症例では糖尿病性腎症を伴うことがあり、C はカリウム含有量が他社製品(A や B)に比べ約 2 倍多かったため、せっかく採用したのに使用できない事例がありました。そこで、はじめに採用していた A と同等の血糖抑制作用があり、糖質にパラチノースが配合され、カリウム含有量が同程度で価格が安い他製品(仮に D と表記)に変更になりました。ところが今度は、D の脂肪含有量が多いためか下痢を起こす事例が散見されました。販売メーカーから、D は下痢が少ないとの説明を受けていましたので、もう一度メーカーに問い合わせたところ、含有する数種のファイバーのため一過性の下痢を起こす事例があるとの回答がありました。現在は D 使用中に下痢を起こすと、A や糖質調整栄養剤以外の経管栄養剤に変更され、せっかく D を採用したのにあまり使用されていません。決して変更したメーカーの製品(B、C、D)が悪かったわけではなく当センターの症例には合わなかっただけだとは思いますが、ここまで経管栄養剤変更の影響があるとは考えていませんでした。

食品の栄養剤について同じ用途に使用する場合、成分に多少の違いがあっても大差はないと考え、価格の安い製品を採用しがちです。しかしこのような事例を他にも経験しており、食品といえども栄養剤の選定、変更には注意が必要です。

## — 職場紹介 —

### そうごう薬局防府駅南町店

久保 彰則

はじめまして。そうごう薬局防府駅南町店です。  
この3月2日にオープンしました。

まだ開局して3か月たっていないので、まだまだ知らない部分も多いかと思いますが、この場をお借りして紹介したいと思います。

場所は防府駅の南側で、イオンやコンビニなども近くにあり、立地条件としては非常に利便性の高い場所にあるかと思っています。



薬局は白を基調とした店舗で、外から見ると狭く感じましたが、入ると意外と広く感じました。薬は当然ながらほとんど目薬です。少しずつ内服も増えてきております。

当薬局はかわもと眼科さんの門前薬局で、来られる患者さんのほとんどが目薬の処方となります。



かわもと眼科さんは山口県で唯一レーシック手術をされている病院らしいです。先生の評判もよく、患者様からも『年々患者さんが増えているね』と言われたこともあります。

眼科領域は奥が深く、特にアドヒアランスや患者さんの薬の保管方法の指導には、薬局として大きくかかわる必要があることを実感しております。

眼に何かしらの異常がある方が来られる中で、いかに患者さんが間違えず、かつ使用忘れなく続けて点眼してもらえる指導を残すかが非常に難しく、特に白内障の手術の前後の指導には患者さんからの十分な理解を得られるよう何度も指導を行っております。非常に苦勞する部分も多いですが、楽しめております。実際、眼科さんのイメージは大分変わりました(笑)

薬局としてもまだまだ未熟で、皆様にご迷惑をおかけする部分もあるかと思いますが、気兼ねなくご意見等いただけたら幸いです。

## — こんにち和 —

シメイ ナカムラ ユウジ  
氏名：中村 裕次

血液型：O型

出身大学：城西国際大学

(平成 24 年度卒)

勤め先：いちのみや薬局植松店

趣味：楽器(ギター、ベース)、ドライブ

好きな言葉：人間万事塞翁が馬

ひとこと：青森県に生まれ、千葉県の大学へ進み、神奈川県で3年間働き、ここ防府市へ辿り着きました。もう移住しない(たぶん)ので、よろしくお願いします。



シメイ フクマ タマコ  
氏名：福間 珠子

血液型：B型

出身大学：慶應義塾大学

(平成 25 年度卒)

勤め先：いくも薬局天神店

趣味：ゲーム、読書

好きな言葉：一期一会

ひとこと：よろしくお願いします



シメイ カワムラ タイスケ  
氏名：河村 泰輔

血液型：A型

出身大学：京都薬科大学

(昭和 63 年度卒)

勤め先：カワムラ薬局

趣味：描くこと、ゆったり読書

好きな言葉：センス・オブ・ワンダー

ひとこと：防府に帰ってきて21年。これからもよろしくお願いします。



## － 会員の動き －

### ◇入会◇

井東 みどり	無所属
原 斉秀	ムーン薬局高井店
岡村 恒太	防府リハビリテーション病院
甲斐 崇文	県立総合医療センター
米本 栄香	オリーブ薬局徳地店
青谷 元喜	オーエス中関薬局
平瀬 聖子	オーエス中関薬局
伊藤 篤子	田中薬局
安村 美紀	県立総合医療センター
新出 恭平	フェアリー薬局
河濟 悠生	県立総合医療センター

### ◇退会◇

藤田 敬介	防府胃腸病院
岡田 義隆	昭和薬局
石川 真也	いちのみや薬局伊佐江店
金澤 純二	協和発酵バイオ(株)
田中 和史	オリーブ薬局徳地店

### ◇変更◇

西山 浩司	めばえ薬局田島店	→	めばえ薬局
重村 幸治	いちのみや薬局植松店	→	いちのみや薬局伊佐江店
中村 裕次	新しくわのやま薬局	→	いちのみや薬局植松店
白野 陽正	県立こころの医療センター	→	県立総合医療センター
礒部 邦彌	県立総合医療センター	→	県立こころの医療センター

## － 定例理事会報告 －

平成26年度 第12回 定例理事会

開催日時:平成27年3月5日(木) 19:30~21:30

開催場所:防府薬剤師会館

出席:福田、木村、三堀、椎木、原田、竹光、白野、吉岡、舟谷、越智、山内、福田(大)各理事、松村監事

欠席:笠原監事

### 【協議事項】

1. 県薬地成薬剤師会協議会について(福田会長):2月19日19:00から山口グランドホテルで開催された。
2. 親睦ボーリング大会について(竹光理事):参加者が約10名。3月6日が募集締め切りだが、20名に達しない場合は中止とする。親睦小委員会だけでは、個別に会員へ参加を呼び掛けるのは不可能。事務局にも協力して頂きたい。開催時期等を含め、今後

検討していく。

3. 事務長後任者について(福田会長)
4. 入会者(木村副会长):5名の入会について全会一致で承認。
5. その他領収書について(越智理事):会務に関わる領収書について、今後理事会にて検討を行っていく事となった。
6. 学薬総会(山内理事):3月7日(土)19:30から「なか谷」にて開催する。
7. 山口県ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー(木村副会长):2月15日(日)デザインプラザで開催された。
8. おくすり管理箱の会計について(福田会長、竹光理事):発送用段ボールについて、今後も作成する事となった。現在、頂いた要望を受けて、次の試作品を作成している。
9. はあとふるねっと全体会について(越智理事):2月26日(木)

市役所にて開催された。

地域包括ケアシステムについての研修会として行われた。

10. 多職種連携研修会について:3月12日(木)アパホテルにて開催予定。テーマ:おくすりの疑問～なぜ薬が効めないのか～  
全会員に案内を流す事とする。

11. 在宅医療推進アクションプラン進捗状況報告について(越智理事):日本薬剤師会からの報告依頼について、在宅医療推進委員会が返答した。

12. 入退院支援センターにおける薬剤師の関わりについて(木村副会長)

13. 防府圏域自殺予防ネットワーク会議の開催について(福田会長):3月16日(月)19:00から防府圏域自殺予防ネットワーク会議が行われる。竹光理事が参加予定。

14. 規則・既定点検検討中(木村副会長):  
労務士の方と検討中。

15. 医療廃棄物(感染性)回収に関するお知らせとお願い、山口赤十字病院薬剤部よりの依頼、自己採血、自己注射に用いた感染性医療用廃棄物について保険薬局でも対応して貰いたい。

#### 【連絡事項その他】

##### ①県薬剤系

保険薬局部会報告(舟谷地域委員):平成27年2月14日(土)17:00から「柳井グランドホテル」にて開催された。電子処方箋を見据え、ICチップを用いた薬剤師資格証の発行を検討している。JPALSについて、今のままではレベル5から下がる方が多い。山口県薬剤師会体験学習ガイドラインについて薬学部での早期体験学習(1年)では見学のみ。中学生等の職場体験も見学のみとすること。防府での薬歴講習会を平成27年10月3日(土)に行う。同日に簡易懸濁法講演会を実施する予定。薬歴未記載報道を受け、今後の個別指導は厳しくなる。中四国厚生局へ薬歴講習会出席状況を提出する。薬歴講習会に参加せず、薬歴の記載状況が不十分であれば速やかに監査に入るとの事。

#### 【委員会活動】

①保険薬局委員会(木村委員長):保険薬局協議会は3月10日(火)4月14日(火)の予定。

②生涯教育委員会(三堀委員長):3月19日(木)防府薬剤師会活動報告。椎木理事、越智理事が発表予定。3月27日(金)防府医師会共催学術講演会を開催予定。

③広報委員会(白野委員長):広報誌を3月末までに発行する予定。

④学校薬剤師委員会(山内委員長):柚野木小学校の学校薬剤師を栄町薬局の長藤先生に依頼し、ご承諾いただいた。

⑤在宅医療推進委員会(越智委員長):2月26日(木)ルルサスにて訪問薬剤・居宅療養管理指導について山口県立総合医療センターと話し合いを行った。訪問薬剤・居宅療養管理指導に関わる「山口県立総合医療センター」との取り決めについて協議を行った。改めて委員会にて検討する事となった。

##### ⑥その他小委員会

親睦小委員会(竹光委員長):体験セミナー「春の薬草園見学と広島・三次の文化芸術体験」について案内状とFAX申込用紙について理事会で協議し案内を行っていく事となった。

休日診療所チーム(椎木担当理事):薬剤検討会を3月26日に開催する。

⑦総務委員会(木村副会長):3月5日(木)防府看護専門学校卒業式に会長が参加。3月8日(日)就実大学合同説明会に会長他が参加予定。

#### 【その他】

各種様式について(三堀副会長):入会申込書・変更報告書・退会届、出張申請書、出張報告書・旅費精算所を新たに作成した。4月1日から使用開始する。

#### 平成27年度 第1回 定例理事会議事録

開催日時:平成27年4月2日(木)19:30～21:00

開催場所:防府薬剤師会館

出席:福田、木村、三堀、椎木、原田、竹光、白野、吉岡、舟谷、越智、山内、各理事、松村監事

欠席:笠原監事

オブザーバー:権代、永田

#### 【協議事項】

1. 県薬地域薬剤師会協議会について(福田会長)
2. 春の薬草園見学について(竹光理事)5月17日(日)広島 参加者募集。締切4月12日。参加者4月2日現在6名の申込みあり。防府日報にも案内を掲載することについて全会一致で承認。
3. 女性薬剤師部会地域委員の選出(福田会長)越智理事が地域委員に選出。
4. 多職種連携研修会について(越智理事):3月12日(木)アパホテルにて開催され歯科医師会の先生方を含め43名に参加頂いた。摂食嚥下認定看護師の講演が好評であり、今後薬剤師会の

勉強会にも招聘予定。

5. 休日診療所薬剤師会について (椎木副会長)
6. 入会者 (木村副会長) :3名の入会に関して全会一致で承認
7. 学業担当校任命について (山内理事) :柚野木小学校を長藤正士先生が担当。野島小学校が就学児童ゼロである。
8. 委員会活動費予算実績について:4月8日まで提出
9. 防犯カメラ設置について (提案) :見積取って次回決議予定。
10. 外科医・薬局休日当番のHP掲載について:県薬HP・防薬HPアップ済みであり当番薬局は休日加算の算定可能。
11. 医薬品商業組合表章者推薦について
12. その他GW前後の休暇の調査を実施予定。3月15日ホテルニュータナカで、県医師会・訪問看護協会・県薬の集まりがあり、衛生材料の調査について会議を実施したが、山口県全体で統一した衛生材料のリストを作成することは困難であるとの結論に達し、今後は各地域単位で検討してほしい。

#### 【連絡事項その他】

##### ①県薬関係

保険薬局部会報告 (舟谷地域委員) :五苓散坐薬の保険請求できない。薬種講習会に参加していない薬局が個別指導で返戻になるケースが多く必ず講習会には参加すること。厚労省からの一包化算定解釈について県薬HPに掲載有。

②会営薬局関係 3月末に棚卸完了。

#### 【委員会活動】

- ①保険薬局委員会 (木村委員長) :保険薬局協議会は4月14日 (火)、5月12日 (火) 開催予定。
- ②生涯教育委員会 (三堀委員長) :4月9日 (木) 広大森川先生、テーマは「浮腫」。4月17日 (金) 防府医師会共催学術講演会を開催予定。
- ③広報委員会 (白野委員長) :広報誌123号発行。入会様式・出張様式を防薬HP会員ページにアップ済。
- ④在宅医療推進委員会 (越智委員長) :おくすり管理箱を2パターン作成する予定。病院薬剤師会へのおくすり管理箱案内を提案する。
- ⑤総務委員会 (木村副会長) :防府看護専門学校入学式4月2日 (木) 13:30~福田会長が出席。

平成27年度 第2回 定例理事会議事録

開催日時:平成27年5月7日 (木) 19:30~21:30

開催場所:防府薬剤師会館

出席:福田、木村、三堀、椎木、原田、白野、吉岡、竹光、舟谷、山内各理事

欠席:越智、福田 (欠) 理事、松村、笠原監事

オブザーバー :権代事務長、永田新事務長

議題

#### 【協議事項】

- 1.臨時理事会の日程について (木村副会長) :5月22日 (金) に開催する予定だったが、定款に反するので総会2週間以上前の5月15日 (金) 19時30分へに変更。了承。
- 2.春の薬草園見学会について (竹光理事) :5月17日 (日) 広島湧永製薬薬草園見学バスツアーは45名集まり、定員に達した。福田祥子親睦委員と竹光理事が同行。
- 3.大規模災害時における医薬品供給体制について (木村副会長) :防府市内で大規模災害が発生した時、医療救護活動を迅速に提供できるようあらかじめ体制を整備しておくことが必要である。救護所への薬剤師の派遣や医薬品の供給・仕分けなど、整備を円滑に行うために、市から定期的に市と担当関係機関で会議を開催したいという要望があり。薬剤師会の担当者として舟谷理事が推薦され、受諾。
- 4.防府三師会合同協議会について (三堀副会長) :6月30日 (火) 19時から浜にて開催される。監事共医師会、ほうふ健康フォーラムのテーマとして何が良いか、案が欲しい。「森川先生に講演してもらおう」、「骨粗鬆症」、「危険ドラッグ」などいろいろ案が出たが、近年社会問題になっている危険ドラッグについてが良いのではという結論になり、その意向を三師会合同協議会にて伝える。
- 5.県薬選挙管理委員の推薦について (木村副会長) :椎木副会長が兼任されていたが3月31日をもって任期満了。最適者は特になかったため、椎木副会長再任。了承された。
- 6.各委員会の事業報告・事業計画について (三堀副会長) :4月13日開催の総務委員会にて各委員会委員長に提出してもらった事業報告書並びに事業計画書を確認。総会の資料とする。
- 7.今年度事業活動費の確認について (三堀副会長) :前述の総務委員会に基づいて各委員会の活動費が決定。ただ、総務委員会の会議費については今までは新卒会費と総会費と納涼会費を計上していたが、今年からは納涼会費を親睦小委員会の活動費として計上する。また、総務委員会の仕事を親睦小委員会が受け持つという

位置づけを再確認した。

8.入会者（木村副会長）6名の入会について理事全員入会を承認。

9.センサーライト設置について（木村副会長）防犯カメラを設置するかセンサーライトにするか今までの理事会で話し合ってきたが、防犯カメラの設置は棄却され、センサーライトを3カ所取り付けることで合意した。

10.薬局入口の段差について（木村副会長）けスロープを取り付けたいがマンホールがあって上手く設置できない。また、まだ事務局を薬局と勘違いして入ってくる患者さんがいる。どうしたら良いか。色々意見が出たがまず看板（ついで）を設置して薬局へのスムーズな誘導を促す。

#### 【連絡・報告事項】

1.献血協力について、5/14（木）13:30～16:30 防府薬剤師会館にて実施

【その他】「公益事業におくすり手帳だけでなく手帳カバーも取り入れたらどうか」という意見あり。新たに公益事業として申請し直さなければならぬが、これから手帳カバーも公益事業としていく方針とする。

#### 【関連事業・その他】

##### ①県薬界系

地域薬剤師会会長会議報告（福田地域支部長）：国は在宅に確実に向かっているなど報告。

保険薬局部会支部委員会報告（舟谷地域委員）：薬歴講習会の会場は、デザインプラザ防府になる事など報告。

②会営薬局関係（吉岡理事）：処方せん枚数が増えている。もう一人せめてパートでも薬剤師が欲しい。

#### 【委員会活動】

①保険薬局委員会（木村委員長）：5月12日の協議会で、グラナテック点眼について講演を依頼。次回6月はレビー小体についての講演を予定。インシデント報告あり。

②広報委員会（白野委員長）：清流第124号を発行予定。ホームページの会員のページに会への入会申込書や変更届の様式を掲載した。

③その他小委員会・チーム親睦小委員会（竹光委員長）：バスツアーの準備をすすめる。

休日診療所チーム（椎木担当理事）：GWは無事終了。

平成27年度 臨時理事会議事録

開催日時：平成27年5月15日（金）19:30～22:00

開催場所：防府薬剤師会館

出席：福田、木村、三堀、椎木、原田、竹光、吉岡、舟谷、越智、山内、福田（太）各理事、笠原監事、松本監事

欠席：白野理事

#### 【議題】

##### ①臨時総会に関する案件について

1. 各委員会の事業報告、会計収支報告並びに事業計画、会計予算について（三堀副会長）：資料を用いて説明。訂正事項については各担当委員長確認の上、事務局へ連絡することとなった。

2. 会計報告について資料を用いて説明。内容について協議を行った。

3. 事業報告、事業計画案について（福田会長）：資料を用いて説明。内容について協議を行った。

4. 収支決算報告、収支予算案について（三堀副会長、笠原監事）：資料を用いて説明。

5. 公益目的支出計画実施報告について（三堀副会長）：現在作成中。後日三役にて確認する事となった。

6. 役員改選に伴う手続き等について（三堀副会長）：防府薬剤師会定款変更、会長候補者選挙規定、役員報酬等規定について、資料を用いて説明。内容について協議を行った。

7. 進行と役割分担について（木村副会長）

会務報告：木村副会長

事業報告、事業計画案：木村副会長

公益目的支出計画実施報告：木村副会長

会計実績報告、予算説明：三堀副会長

監査報告：松本監事

懇親会の進行について：木村副会長

司会進行：渡義彦先生へ依頼する。

乾杯挨拶：椎木先生へ依頼する。

万歳三唱：松本先生

余興：親睦小委員会へ一任

# — 山口健康福祉センターからのお知らせ —

## 1 厚生労働省通知について

### ◆平成 27 年 4 月 1 日付け薬食発 0401 第 8 号

#### 薬局等構造設備規則の一部を改正する省令の施行について

主な変更点は以下の図のとおりです。

【変更点】薬局に備えるべき調剤に必要な設備及び器具について

#### 液量器

旧 20cc 及び 200cc

↓

新 用量の規定なし

#### ピペット台・ロート台

旧 必要

↓

新 削除

#### メスフラスコ・メスシリンダー

旧 どちらも必要

↓

新 どちらか一方で可

### ◆平成 27 年 3 月 31 日付け薬食発 0331 第 1 号

#### 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行令第 3 条の規定に基づき厚生労働大臣の指定する医薬品の有効成分の一部を改正する件について

※**薬局医薬品製造販売業・製造業の許可を持つ方**に**関係する通知**です

品目削除、品目追加、一連番号の変更、製造方法欄の変更、規格の変更について示されました。品目削除については承認整理届の提出が必要です。また、品目追加の際には製造販売承認の申請が必要となります。

#### 【削除となった品目】

一連番号 63

参考（処方番号 胃腸薬 15

販売名 フェバリン・マグネシア散

**要 届出**

#### 【追加された品目】

一連番号 175～187、

400～423

※詳細は、**通知をご確認ください。**

**要 申請**

## 2 薬物乱用防止啓発資材について

山口健康福祉センターでは、薬物乱用防止に関する啓発資材の貸出及び配布を行っております。薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室の際など、ぜひお役立てください。

貸出及び配布希望の際には、予約のご連絡をお願いします。

#### <貸出資材>

- ・シンナー実験セット
- ・薬物見本
- ・啓発用パネル
- ・DVD、ビデオ

#### <配布資材>

- ・リーフレット



### 3 その他留意事項

- ◆他県にて薬剤師以外が調剤を行ったという報道がありました。薬局として、薬剤師として、法律を遵守されていることを今一度ご確認ください。
- ◆麻薬、毒薬、向精神薬等の特に在庫数管理の必要な医薬品については、日頃から実数の確認など管理の徹底をお願いします。
- ◆申請及び届出書類における“許可年月日”欄については、証明年月日ではなく、“有効期間の開始日”をご記入ください。

## — 生涯教育 —

- 3月19日（木）出席者数：15名（薬剤師数15名 内会員数15名）

防府医療圏生涯学習研修会

JPALSコード「35-2014-0234-101」

「子どもの目の病気と薬」

防府栄町薬局 薬剤師 椎木 康之 先生

「薬剤師にできること～正しく薬を飲んでほしくて！お薬管理箱の利用～」

メディカルドラッグピスティー店 管理薬剤師 越智 志穂 先生

- 3月27日（金）出席者数：44名（内薬剤師数：19名 内会員数16名）

防府医師会共催学術講演会

JPALSコード「35-2014-0235-101」

「ジャディアンス錠のご紹介」

日本イーライリリー

「臓器連関からみる糖・エネルギー代謝調節～体重を意識した糖尿病治療への展開～」

東北大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝内科学分野 准教授 山田 哲也先生

- 4月9日（木）出席者数：9名（内薬剤師数：9名 内会員数9名）

操薬と一く in 防府

JPALSコード「35-2015-0002-101」

「症状から見る病態生理（浮腫）」

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 森川 則文 先生

- 4月17日（金）出席者数：45名（内薬剤師数：20名 内会員数18名）

防府医師会共催学術講演会

JPALSコード「35-2015-0003-101」

「スーグラ錠の情報提供」

アステラス製薬

「NASH合併糖尿病患者の治療戦略」

佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科 教授 安西 慶三 先生

## — 山口県薬剤師フォーラム 2014 に参加して —

### メディカルドラッグピスティー店 越智 志穂

平成26年11月29日（土）30日（日）に、山口県国際総合センター海峡メッセにて、山口県薬剤師フォーラム 2014 が開催されました。県薬剤師会主催のフォーラムとしては今年が2回目ということもあり、前年以上の盛り上がりでした。

29日の薬剤師セミナーから始まり、レセプションでは楽しいイベントがあったと聞いております。私が参加させていただきました会員発表は30日に行われました。口頭発表7件、ポスター発表7件行われ、製薬会社および卸などの商品説明ブースも設けられており、こちらも大盛況でした。

今回私は、『薬剤師にできること～正しく薬を飲んでほしくて！お薬管理箱の活用～』と題し、防府薬剤師会在宅医療推進委員会での取り組みや、当会作成のお薬管理箱の活用方法について発表させて頂きました。お薬管理箱を作ろうと思ったきっかけ、作成の経緯、実際の入院患者や在宅患者でのお薬管理箱の活用方法など、事例を提示しながら説明させて頂きました。

発表時間はなんと10分！（長過ぎても困りますが・・・）一週間前からの予行練習では当然23枚のスライドを10分で話すことなんてできず、文章を直しては予行練習の繰り返しでした。なんとか前日までには時間内での発表が出来るようになり、本番も落ち着いて発表させて頂くことができました。

当日、在宅医療推進委員会のメンバーも会場まで応援に来てくださいました。ポスター発表のブースでは、フォーラムに参加して頂いた会員の方々に、実際のお薬管理箱を手にとって見て頂き、委員会メンバーが交代で説明させて頂きました。保険薬局様のみならず、多くの病院薬剤師の方からも「使ってみたい」との好評を頂きました。

県の薬剤師会からも、この『お薬管理箱』の活用についてご好評を頂き、県内すべての保険薬局様に、県薬剤師会からこのお薬管理箱を2箱ずつ無料配布されることが決まり、皆様の薬局にもすでに届いているかと思えます。

最後に、発表の際にも申し上げましたが、このお薬管理箱で服薬管理の問題がすべて解決するわけではありません。私たちが目指すところは、薬の管理や薬に関する相談は「まず薬剤師に聞いてみよう」と思ってもらえる関係作りです。このお薬管理箱をきっかけに、薬剤師が窓口での投薬業務から一歩踏み出し、患者や家族、多職種などの支援者と新たな関わりを得られることを願っております。

これからも、皆様のご協力とご指導ご鞭撻よろしく願います。

（余談ですが・・・フォーラム最後に行われた抽選会で、委員会メンバーの新〇わの〇先生が見事『獺祭』を引き当てられました！！）



おふなぐら  
「御舟倉」

防府市三田尻三丁目

参勤交代で萩を出発した藩主は、萩往還の終点である三田尻御茶屋（英雲荘）に到着し、ここ「御舟倉」から船出していました。

御舟倉は慶長 16 年（1611）に下松から移転し、藩主の御座船や水軍の軍船を常置するとともに、船の建造や修理をする設備が整えられました。また、水軍関係者や船頭・船大工等の住宅地が整備され、藩主出入の表玄関として発展しました。

明治になると御舟倉は廃止となり、現在周辺は埋め立てられ、この通堀<sup>かよいぼり</sup>とその水路の一部を残すのみとなっています。

参考資料：山口県・防府市教育委員会設置説明看板 他

### ■編集後記■

先日、地区のソフトバレーボール大会に参加しました。あれっ？思ったように体が動かない・・・さらに筋肉痛が・・・。やっぱり、日頃から体を動かさないとだめですね。ロコモ予防のためにもソルトアリーナに行こうかな。みなさんは何かしていますか？

(一社)防府薬剤師会 広報委員会

(白野 陽正、松井 都世子、渡邊 太郎、佐藤 洋平)

発行所

〒747 - 0028 防府市東松崎町 4 - 23

(一社)防府薬剤師会

TEL:0835 - 38 - 4360

FAX:0835 - 38 - 4371

URL:<http://hoyaku.jp/>

e-mail:[info@hoyaku.jp](mailto:info@hoyaku.jp)

発行編集人 福田 淳子

印刷所 瞬報社オフリン印刷株式会社

山口市小郡下郷 2410

TEL:083-972-5678